

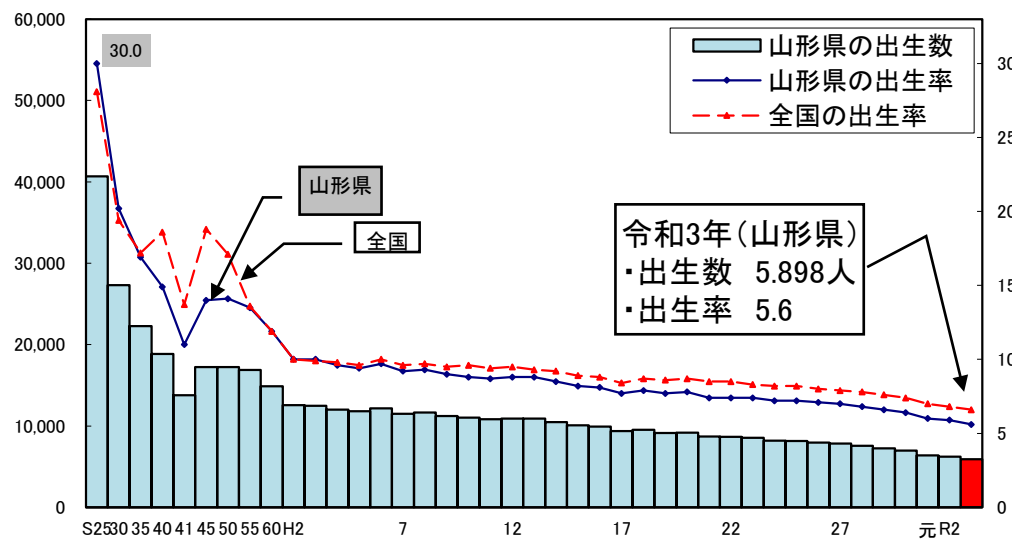
山形県の紹介

- 美食美酒の県 さくらんぼや山形牛、日本酒、ワインなど美味しいものがたくさん！
- 全国に2人しかいない女性知事。全国知事会男女共同参画プロジェクトチームのリーダーとして、女性活躍推進にも力を入れている。
また、全国に先駆けて知事直轄の「子ども政策室」を設置（平成21年度）



背景

- 全国でも少子化が最も深刻となっている中、本県の出生率も低下の一途をたどり、令和3年には全国43位に。



全国及び本県の出生率の推移

現状の課題

- コロナ禍や物価高騰で、深刻な少子化にさらに拍車がかかっている
⇒子育て世代が抱える経済的負担感の軽減は待ったなしの状況
- 特に、保育料については、国の制度で一部無償化されているが、世帯所得によっては無償化されていない階層があり、子育て世帯の大きな負担となっている。



「子育てするなら山形県」の実現に向けて



事業の
目的

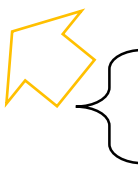
事業
内容

山形県では全国に先駆けて独自に、
0～2歳児の保育料【第3・第4区分
(世帯年収470万円未満)】
を軽減(国で軽減未実施の階層)



○ 県内全市町村が、ゼロまたは国基準の
半額以下に軽減。

ゼロ：30市町村
軽減：5市



所得階層区分		推定年収	国基準利用料	0～2歳児	3～5歳児	
①	生活保護世帯	—	0円	全国一律で 既に無償化	全国一律で 既に無償化	
②	市町村民税非課税世帯	260万円未満				
③	市町村民税 所得割	48,600円未満	330万円未満	19,500円		本県独自に 負担軽減を実施 (令和3年9月～)
④		97,000円未満	470万円未満	30,000円		
⑤		169,000円未満	640万円未満	44,500円		政府の動向等を 踏まえて検討
⑥		301,000円未満	930万円未満	61,000円		
⑦		397,000円未満	1,130万円未満	80,000円		
⑧		397,000円以上	1,130万円以上	104,000円		

- 子育て世代が抱える経済的な負担を軽減
- 白鷹町が全階層での保育料無償化を表明
～無償化の拡大を検討中の市町村もあり、負担軽減・無償化への動きは広がっている～
- ホームページやSNS等、県の広報媒体で寄附いただいた企業を御紹介
- 日本全体の課題である少子化に先頭をきって取り組む企業としてイメージアップ

連絡先：山形県 しあわせ子育て応援部 しあわせ子育て政策課 長澤・長岡
023-630-3345 Email: ykosodate@pref.yamagata.jp

得られる
成果等

寄附を
する
メリット

